

県議会。
豪華海外視察

ついに

中止

県民世論と 日本共産党がおいこむ

11月1日から10日間、公費を使つてのヨーロッパへの海外視察を予定していた県議らが10月18日次々参加を辞退し、県議会は、視察を中止しました。

同視察は、9月定例県議会で、日本共産党以外の全会派の賛成で、決まっていたものです。

県民からは「暮らしがたいへんなときに増税しておいて、許せない」「1人100万円とは豪華すぎる」と大きな批判が寄せられていました。

日本共産党の議席が県民の運動と結んでみごとに県政を動かしました。



ムダ使いなくし 暮らしにまわせ

日本共産党



日本共産党の前屋敷えみ県議（写真）は、「県民にとって必要な視察なのか」「財政難のときに、県民の理解は得られない」「視察は中止して、県民の負担を少しでも軽くするべきだ」と反対討論で

のべていました。

日本共産党は、引き続き、海外視察のあり方自体の見直しも含め、ムダ使いをチェックし、県民の暮らしにまわすために全力をつくします。